

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	服飾分野における専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業		
法人名	学校法人今泉学園		
学校名	今泉女子専門学校		
代表者	理事長 今泉 正規	担当者 連絡先	今泉玲子 TEL024-932-0429

1. 事業の概要

本事業は2007年問題等をふまえ50～60代の層を対象にキャリアアップ教育及び女性の再チャレンジの為の講座を実施し、職業を通して社会貢献する喜びを感じて充実した人生を送れる様にすることである。今泉女子専門学校は、職業を意識して学ぶ服飾の専修学校であるが、その専門分野である服飾教育で専門技術の習得や管理能力の向上、起業家育成などを目的として開始した。募集はかつて服飾を専門に学んだことのある人、現在服飾関連の仕事に従事している人又は過去に従事していた人たちを対象に呼びかけ、19名参加でスタートした。9月6日(水)に開講式を行い本事業の趣旨を十分理解させると同時に各々がどうい希望を持って参加したか話し合い、良い結果を出せる様内容を吟味し何度も検討を重ねて進めた。ファッションの傾向等はパソコンを大いに活用して日本ばかりでなく国際的な流れや今後については社会情勢等を考えて予測し、多くのデザイナーの感性にふれ、服装は服だけのことでなく、服を取り巻く大きな環境によって変わることなどを自分の目で確認し視野を広めた。次に自分が世界で一枚の創りたい服をいかに表現するか先ずファッション画の描き方を再勉強しファッション画の書き方によるイメージの出し方・配色・質感等熱中して何枚も描き表現力を養った。次に1人ずつ異なる体型の採寸等の基礎を学び11月18日は皆でファッションの中心である東京へマーケティングリサーチに出かけた。六本木・原宿・銀座・布地や付属品の素材研究の為に日暮里と精力的に見てまわり大きな収穫となった。東京から帰ってからは思い思いのデザインの創作活動に入った。自分で考えたコンセプトを常に頭に置きそれに基づく作品作りは時間外も指導を受ける程ハイレベルな仕上がりを求めただけであってどれも素晴らしい出来映えで個性豊かな作品が完成した。ファッションCADの操作に不慣れな人もいたので実際にCADを使いながらCADを利用することによる利便性を体感した。プレゼンテーション発表はそれぞれが抱える問題点等を話し合ったり技術面では実際に試作し大いに研究し合った。プレゼンテーションの準備はかなり時間や物を要して大変であったが会場の配地図をしっかりと整えておいて準備した為作品はとても見やすく美しい会場となった。一部フロアショー形式でご覧頂いたがこちらも好評だった。プレゼンテーションではプレゼンターの一言一言が成る程と思えることの連続でそれぞれに大きな拍手が湧いた。会場の皆さんがとても喜んだのは内閣総理大臣補佐官の根本匠衆議院議員が時間をかけて展示物をご覧になり多くを質問され、こういう事業にこれからも大いに頑張る様にと激励されたことです。多くの来場者からも絶賛の声が聞かれ、又受講者も毎週水曜の夜の勉強時間がとても充実していたと喜ばれ、このたびの文部科学省の支援に大変感謝致します。尚この事業で成果発表した14名中3名が起業実現を表明し他の方々も続けて勉強したいと意欲を燃やし、その他現在ファッション関連の仕事に就いている人達は今自分達が置かれている立場を再認識し、今後どういう視点でファッションを考えるべきか又フレッシュな感性を持って新しい発想を生み出す創造力を養おうとする強い意欲が感じられ今後の活動が大いに期待されることでしょう。

2. 事業の評価に関する項目

① 目的・重点事項の達成状況

目的重点事項については最後迄継続した14名については予想以上の成果が出て大変満足している。最初の計画では定員を15名にしたが、事業内容が好評で、19名の申し込みがあり熱望されたので全員受付し、講座を開始した。途中でそれぞれの都合で最後迄続かなかった5名の理由として(1)自分の仕事の残業が多く時間的に無理2名(2)自分の体調が思わしくなくなり断念1名(3)家族に病人が出て看護の為に断念1名(4)ファッションの下地が全く無く無理と自分で判断1名とそれぞれの理由があり、本人が勉強したい意欲があってもその他の条件が整わなくなった人がほとんどでした。

②事業により得られた成果

(1)定年を迎えるとほとんどの人が社会と断絶する様なさ淋しさを感じる様であるが、この事業により年令とは別に仕事への意欲・研究心・健康管理等をしっかりすることで高年令迄就業し、社会参加できることの将来像が見えてきた。(2)時代の変化に伴い、ニーズに応えることがとても大切であり専門知識や技術を絶えず更新しなければ作り手側の押しつけにすぎないことが良く解った。(3)自分の得意分野をしっかりとアピールし追従を許さない位にしておかないと仕事として通用しない厳しさを感じた。(4)1人でも少人数でも起業できることが解った。資料は能率的に進める為に配布した時もあるが、実技指導は口答で納得する迄説明するのが少人数の場合は最適でパソコン利用黒板図解、参考資料等により更に理解度を高めた。

③今後の活用

今回の事業参加者の共通点はものづくりの楽しさを充分解っていて、できることなら一生服飾関連の仕事に携わっていたいとの思いがあった。ただ起業についても具体的に計画している人は少なく漠然としているので職種と勉強内容についてはこれからも力を入れて意識づけさせていきたい部分と思う。

④次年度以降における課題・展開

今回は約半年の期間であったが一年間二年間なら更に自信を持って社会で活躍できるのではないかと思われたので、今後もこの事業を継続できることを願っております。

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

事業実施日と内容
受講生名簿と出席簿
受講風景と市場調査報告
委員会
成果発表作品一覧表
成果発表会場レポート
ポスター、チラシ、案内状、新聞記事

②その他

事業の特色 女性がキャリアアップをすることにより年齢に拘らず仕事に対しての自信と方向性を見極める良い機会であったことと、技術面においてははっきりとした成果が出せたことである。

工夫点 仕事や種々の都合で毎回受講できない方には個人的に欠席した時の内容を補講したり指導して意欲を継続させたことである。